

うっしっしいー情報2015

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が90万3千円、雌が83万4千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	11	0.996	908,280	8	0.896	808,785	19	866,387
篠山	6	0.919	822,240	2	0.739	719,280	8	796,500
丹波	22	0.962	905,482	18	0.866	793,080	40	854,901
朝来	11	0.939	982,800	3	0.886	763,560	14	935,820
播磨	17	0.934	842,527	15	0.857	746,208	32	797,378
美方郡	78	0.957	892,398	91	0.868	875,120	169	883,095
豊岡	32	0.957	898,661	23	0.875	812,160	55	862,488
養父	21	1.040	984,343	23	0.912	831,694	44	904,549
摂津・神戸	5	0.957	913,464	1	0.845	686,880	6	875,700
県北C	1	0.784	696,600	3	0.829	716,760	4	711,720
市場全体	204	0.963	903,325	187	0.872	833,956	391	870,149

12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	51	1.001	947,245	44	0.892	895,001	95	923,048
2	丸宮土井	33	0.944	956,487	30	0.866	849,384	63	905,486
3	芳山土井	37	0.960	867,474	41	0.876	890,658	78	879,660
	総計	204	0.963	903,325	187	0.872	833,956	391	870,149
4	千代藤土井	5	0.976	967,680	6	0.889	775,080	11	862,625
5	照忠土井	41	0.956	885,468	25	0.868	815,616	66	859,009
6	菊西土井	5	0.951	883,440	6	0.873	752,040	11	811,767
7	福芳土井	6	0.996	822,240	6	0.928	746,640	12	784,440
8	丸富士井	16	0.911	861,233	22	0.821	683,836	38	758,529

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A+	B → A	A	A → B	A	A++
2	丸宮土井	B	B	A+	A++	A++	A++
3	芳山土井	A+	A++	A++	C	A++ → A+	A++
4	千代藤土井	A	A+++	C	A++ → A+	A++	A++
5	照忠土井	B	A+++	A+	A+	A+++	A+
6	菊西土井	A+	A+	C	B	A	A+
7	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A
8	丸富士井	B	A++	D	C	A	A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成27年7月現在)

＝エサに潜む「カビ毒」について＝

自給飼料や牧草を使っていると、時々「サイレージを開けたらカビが生えてたけど・・・」、「乾草が濡れていてカビが生えたんだけど」・・・、「でも牛に与える時にカビの部分をとったら大丈夫やんな」、ということがありませんか？皆さんは、こんなエサを牛に「与える派」？それとも「与えない派」？

カビの中には、麹菌や白カビ（チーズ製造に使う）などのように食品の製造過程や、「ペニシリン」に代表される様に抗生物質などの医薬品に利用されるものがあります。その反面、同じ種類のカビの中には動物や人に対して有害な「毒素」を産出するモノがあります。これを、色（白、赤、青）で判断してるかもしれませんが、色だけでの判断は禁物です。そこで、今回は皆さんの大事な牛に大きなダメージを与えかねない「カビ毒」についてお話します。

○「カビ毒」って何？

カビは、①水分（湿度15%以上）、②温度（10～40℃）、③酸素（絶対に必要）、④栄養源といった条件が揃えば、非常によく増殖します(図1)。

カビは目に見えにくいものの、土壌中や住環境中など広範囲に生息しています。つまり、油断をするとすぐに増殖してしまう「厄介な」生き物なのです。

その内、一部のカビが産出する人や動物に「有害な」物質が「カビ毒」です。一度できたカビ毒は、そのほとんどが「熱に強く」、「非常に長く」、「安定して」存在し、カビ自体が死滅しても残存すると言われています。

○カビ毒による症状

牛は第一胃内である程度カビ毒を分解するので、他の動物に比べると耐性があるといわれています。しかし急性の症状としては、「突発的な下痢」と「肝機能障害」を起こし、重篤なものでは「起立不能」となります。また、長期間カビ毒を摂取すると「軟便」となり、「食欲の低下」や「増体率の低下」、「繁殖性の低下」などが見られるようになります。

○カビ毒の予防と対策

(1) 粗飼料におけるカビの発生防止

稲ワラ・乾草などは、「刈り取り後は十分に乾燥」し、「風通しが良く」、「雨などが当たらない場所」で保管して下さい。

サイレージ用の牧草は、「適期に収穫」して、「適切な裁断長」にしてサイロに詰めましょう。また、「十分に踏圧」し、「微生物資材や酵素製剤」などを添加して二次発酵防止に努めます。ラップサイレージに穴が開いた場合は速やかに補修しましょう。

(2) 濃厚飼料におけるカビの発生防止

濃厚飼料の貯蔵は、「雨などが当たらず」・「風通しの良い」場所に保管します。特に梅雨時は、できるだけ短期間に使い切るのが有効です。カラスやハトなどの鳥獣対策として防鳥ネットを張り雑菌の混入に気をつけて下さい。また、飼料タンクなどは結露や温度上昇などによる飼料の変質によるカビの発生が見られるため、継ぎ足しをしないで、空にしてから新しい飼料を入れましょう。農家によっては、梅雨時期だけエサ袋を縦置き(図3)にしている方もいます。

それでもカビが発生したら、カビが発生した飼料の給与を控えることが一番です。しかし、粗飼料など全て廃棄することが現実的に難しい場合は、カビが生えている部分を取り除くか、給与量を減らして安全な他の粗飼料と組み合わせて給与して下さい。また、カビ毒が疑われる場合は、カビを吸着する「カビ吸着剤」を飼料に添加してカビ毒の牛体への吸収を減少させる方法もあります(図4)。尚、吸着剤は、白カビ用と青カビや赤カビなど用があるようです。販売元と相談して購入して下さい。

～皆さんの大事な牛のためにできることから始めてみませんか？～

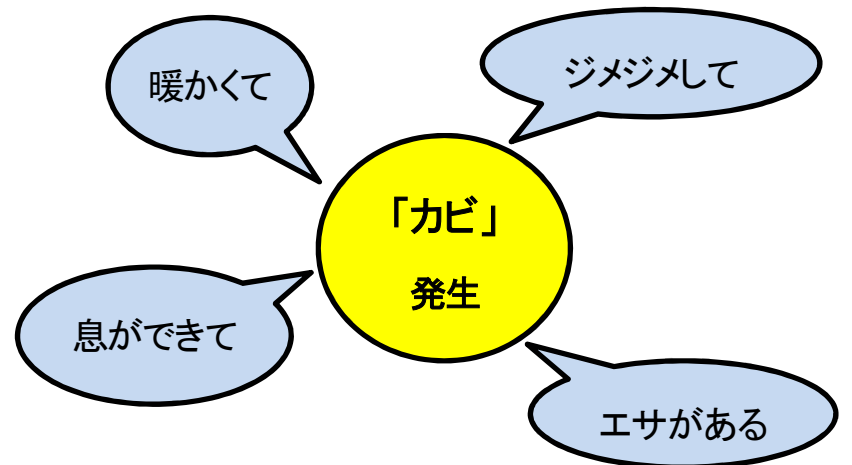


図1. カビの発生条件

＜カビ毒の診断法（養牛の友より抜粋）＞

- (1) 適正な飼養管理にも関わらず、元気・食欲がない
- (2) 反芻の回数が少なく、透明な鼻汁を垂らす
- (3) 原因が不明な軟便や下痢便が続く
- (4) 流死産の発生など繁殖成績が悪い

図2. カビ毒の診断

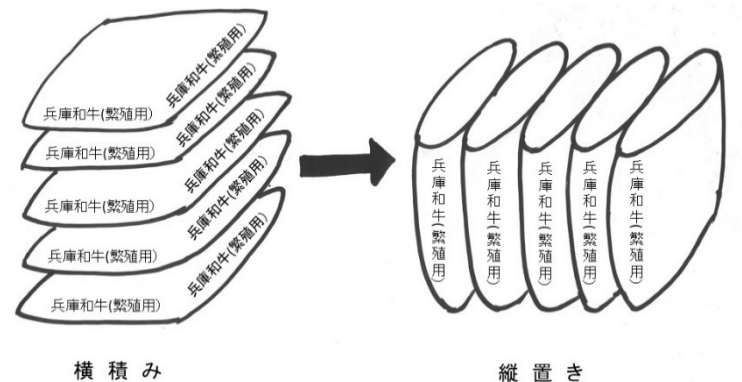


図3. 飼料の置き方

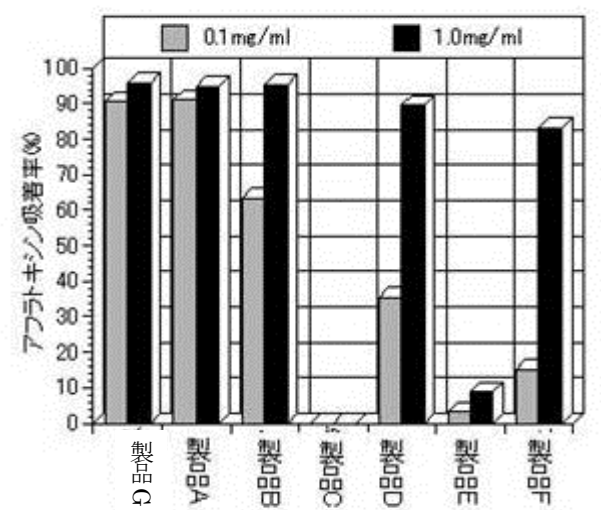


図4. カビ毒吸着資材のアフラトキシン吸着能 (リン酸緩衝液(pH6.0)、37℃、24時間での吸着試験) <ゆきたねネットより抜粋>